Do-conで Let's Enjoy English!

くるみ：今年から小学５・６年生は英語の授業時間が増えるんだってね！！

かずや：今までと何が違うんだろう？

ドウコン君：英語は中学校から頑張ればいいんだよね！？

うらら：小学校の英語はとても大事なんです。
今までは、中学校で英単語を1200語程度学習していました。これからは、小学校で600～700語程度、それに加えて中学校では1600～1800語程度覚える必要があります。

中学校の英語は、小学校で勉強したことが基礎になります。
だ・か・ら 小学校の英語はとても大事なんです。

大事なことなので２回いいました

えっ…！ それは一大事（いちだいじ）だ！！

個人成績票にも８月からは英語が仲間入り！

新指導要領では、中学校卒業までに **2200～2500語** 程度を学習することとなります。（現状の約２倍）
８月の小学生学力コンクール（小５・小６）では、従来の４教科に加え「英語」を実施いたします。
早い段階から英語に取り組むことで、高校入試やその先の大学入試を迎えるころに大きな成果が現れることでしょう。

CEFR ※1	現　状		改善・充実	新たな外国語教育 ※2	
B2（英検準１級）	高等学校	高校卒業レベルで 3000語 程度 高校で 1800語 程度	→	高等学校	高校卒業レベルで 4000～5000語 程度 高校で 1800～2500語 程度
B1（英検２級）					
A2（英検準２級）					
A1（英検３級～５級）	中学校	年間 140 単位時間（週４コマ程度） 中学校で 1200語 程度	→	中学校	年間 140 単位時間（週４コマ程度） 中学校で 1600～1800語 程度
	小学校	5・6年 年間 35 単位時間（週１コマ程度・活動型） 3・4年 なし	→	小学校	5・6年 年間 70 単位時間（週２コマ程度・教科型） 3・4年 年間 35 単位時間（週１コマ程度・活動型） 小学校で 600～700語 程度

※１：CEFR…欧州評議会（Council of Europe）が示す、外国語の学習や教授等のためのヨーロッパ共通参照枠を言う。英検との対照は日本英語検定協会が公表するデータによる。
※２：図は2020年からの新学習指導要領のイメージです。2018年，2019年の移行期間は小３・小４は年間15単位時間，小５・小６は年間50単位時間で実施される学校もあります。

大事なことはわかったけど…
道コンではどんな問題が出題されるんだろう？

他の教科同様 **30分**での実施となり、おおよそ半分は「**聞く（リスニング）**」，残りは「**読む**」「**書く**」が出題されます。（小５と小６の内容は異なります。）
学校で学んだことの中から、基本問題と応用問題を出題します。

※詳しくは年間出題範囲表をご確認下さい。 ← こちらをクリック